

2015年7月28日

2015 全国高校ライフル射撃部 全国委員会 連絡事項

1. 平成26年度事業・決算報告 平成27年度事業計画・予算
2. 日韓高校射撃大会出場監督・選手決定
3. 選手強化関連事業の現状と懸案
4. 地域活性化事業としての全国大会の今後と規模適正問題
2016年度～5年間継続、BR会場改修（高校部会費）
補助金減少 広告費増収（見込）のための協力依頼
大会参加費の見直し（第54回大会より参加費の値上げ）
次年度より **団体 6000円→10000円**
個人 2000円→3000円
※）AR・BRともに本年度参加人数で日程・射座割限界点
→参加人数の縮減の可能性も要検討（1月常任委員会で確定）
（例）個人戦を3名→2名（高体連未加盟県）等速やかに審議の必要性
5. 高校指導者育成・研修
新規ライフル競技顧問へのルール・競技役員育成（※別途資料あり）
審判講習会 29日 15:00 藤平敏・五十嵐治人先生
初心者顧問・公認審判資格所有の顧問対象
6. 日韓大会について
 - 選手選考基準とそのプロセス
 - ①全国選抜上位2名（40発・60発、本戦小数点の結果での上位者を選出）
選抜大会上位者（40発・60発）の銃の所持状況の迅速な確認。
 - ②指定強化選手選考（男女各2名）およびAP選手選考（本年度5月末）
 - ③ブロック大会から上位2名（40発・60発、小数点の結果での上位者を選出）
 - ※日韓大会選手選考に関する「日韓大会・選考会参加申込書」を各ブロック大会時まで提出、選手候補案策定後「参加承諾書」が提出しない場合は、成績が上位であっても自動的に選考の対象外。（様式はH27年度版事業計画）
 - ④引率および競技役員（高校教員+協会役員）の選出
7. 本年度全国高校選手権大会に関する留意点
 - ① 保護者同意書（顧問⇒日ラ事務局保管）ドーピング検査実施の可能性
 - ② 競技役員へのご協力
競技役員は白もしくは紺のポロシャツ 大会作成Pシャツ着用
 - ③アンチドーピング啓発活動
31日 JADAブース設置 積極的に多くの選手が参加

8. 高校記録の報告と集約（新ルール以後のデータ集約）

- 1) 本戦 40 発・60 発小数点記録
- 2) ファイナル 20 発小数点記録
- 3) 各種競技団体戦記録

⇒GⅢ以上の大会新記録を高校部会に報告

例) 全国・全国選抜・ブロック・ブロック選抜・国体・国体ブロック
岐阜ビーム・東日本など日本協会主催の公式戦の記録も含む

9. 全国大会参加選手エントリー手続きと資格審査の厳密化

● 次年度～

①各校大会参加申込書（A4 版）で提出

②これに加えて、各県代表委員が大会事務局に新規様式「各県団体戦参加校および個人戦参加者リスト」をデータで提出

※上記①②は、広島へのメール送信および学校長印および高体連会長（未加盟県は協会会長公印）を押印し、日本ライフル射撃協会に提出

10. 登録費用・必要書類の提出について

● 各県役員名簿・各校活動報告書は、中大附属高校 古澤宛

● 全国高校ライフル射撃部部員名簿・登録費 栄北高校 松田先生宛

※各校正規全部員名簿提出・登録費用納付。未提出、登録人数に故意の誤りがあった場合は、全国選手権出場、指導者講習会等への教員参加を認めない。

● 日本ライフル射撃協会補助金交付申請書

担当 真岡工業高校 村山先生宛申請書類送付 後期分支払い手順

11. 指導者講習会 1月23日・24日 千葉県千葉市

旅費・交通費補助は、土（午後）と日（午前）の双方参加者が対象

12. 3月全国選抜各ブロック候補者=40発・60発（小数点）結果で選出